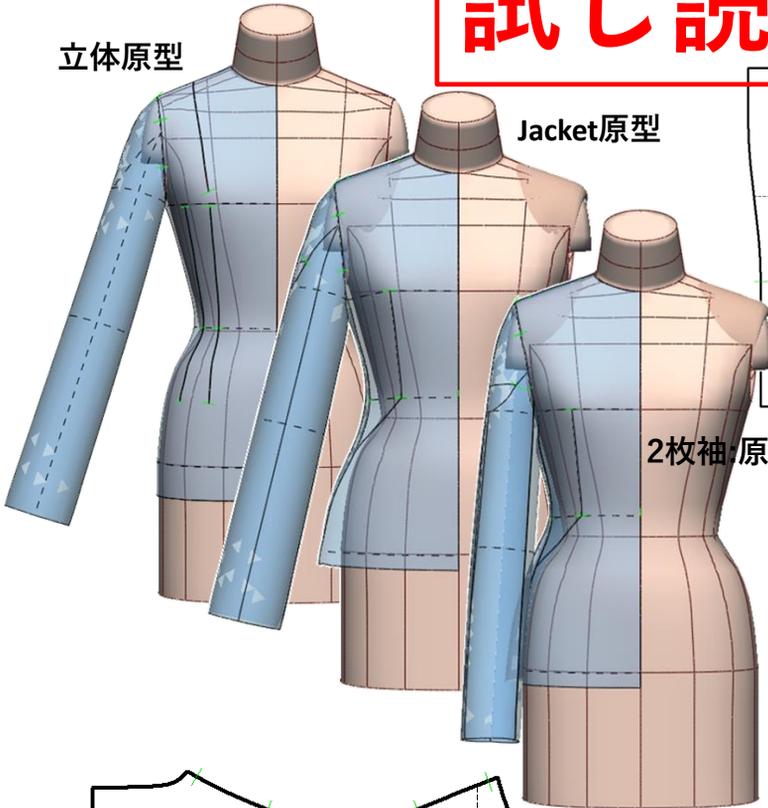


3面構成テーラードジャケットを極める Part3 Bar Jacket編 (Ver.7)

Pattern Magic II 3Dの Ver.7 を使用したアパレルCADパターンメイキングの技術書 フラットパターンメイキングの結果をデジタルトワルで確認修正する画期的な方法を紹介しています

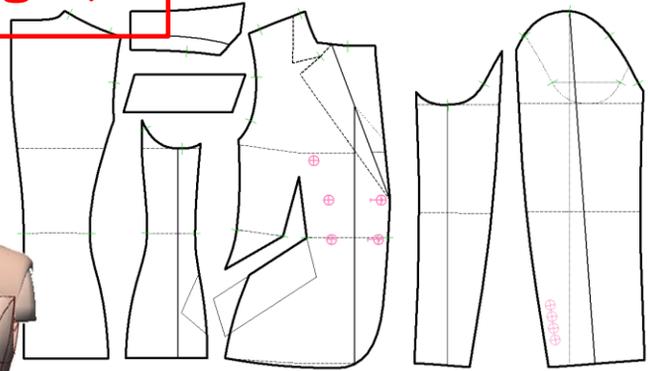
試し読み

立体原型

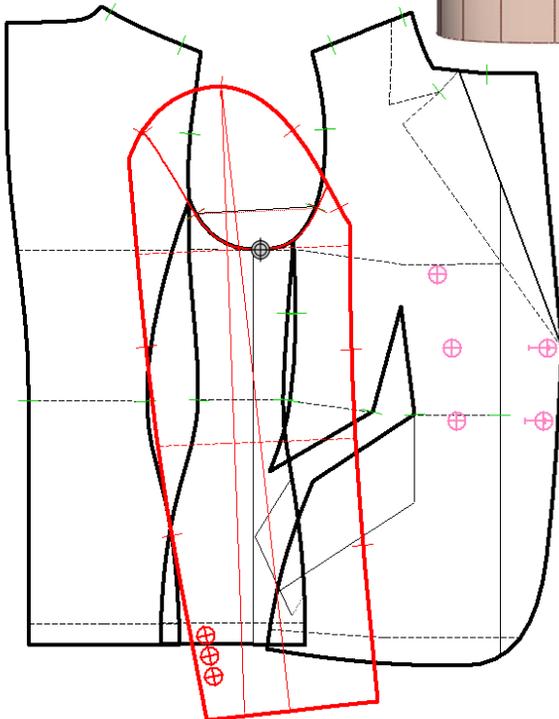


Jacket原型

2枚袖原型



Ladies
Bar
Jacket



目 次

1.はじめに

- 1)本書の特色 2
- 2)実習し易い教材
- 3)デジタルチェックの方法を重点解説
- 4)本書に同梱されている「ACS_ドレス(セッティン)原型について」 3
- 5)同梱のジャケット原型、完成デザインパターン・3Dデジタルデータについて 9

2.Bar JacketのCADデザインパターンメイキング

- (1)身頃3面分割の準備としてウエストダーツ位置を移動する 11
- (2)3面身頃に分割し、パネル線をひく 18
- (3)デジタルチェックで3面分割の身頃シルエットを確認する 41
- (4)マニピュレーションで前後身頃をつくる 42
- (5)身頃袖ぐり線を整理し、2枚袖を作成する 52
- (6)テーラード襟を作成し、デジタルから襟とラベルデザイン線の修正をする 79
- (7)腰フラップポケットを作成する 101
- (8)身頃と袖のボタンを作成する 107

3. Bar JacketのCADデジタルトワルチェック

- (9)半身パーツを使い3Dメニュー[線情報の設定]をする 117
- (10)半身パーツを使い3Dメニュー[配置の設定]をする 131
- (11)半身パーツを使い3Dメニュー[PM7°リフォームの設定]をする 136

4.著者紹介 159

5.参考文献 160

1.はじめに

1)本書の特色

本書ではACS_レイス(セットイン)ボディから、3Dメニュー[ボディのパターン展開]で作成した「原型」を使用します。これは、工業用ボディからドレーピングで作成する「立体原型」と同義です。デザインパターンは、原型を平面操作で切り開く「フラットパターンメイキング」方法を採用し、作成したデザインパターンの品質確認、修正を、3Dの「デジタルマルチチェック」で行う画期的なアパレルCADパターンメイキングシステムを紹介しています。

2)実習し易い教材

詳細な図解で丁寧な解説、初心者にとって解りやすい技術書を心掛けました。PDF技術書をダウンロードしたら直ぐに実習できるように、同梱されている①ACS_レイス(セットイン)からボディのパターン展開で作成したジャケット立体原型、②フラットパターンメイキングで作成したBar Jacketの完成デザインパターンとデジタルマルチ3Dデータを使用・確認して、アパレルCADパターンメイキングの学習ができます。

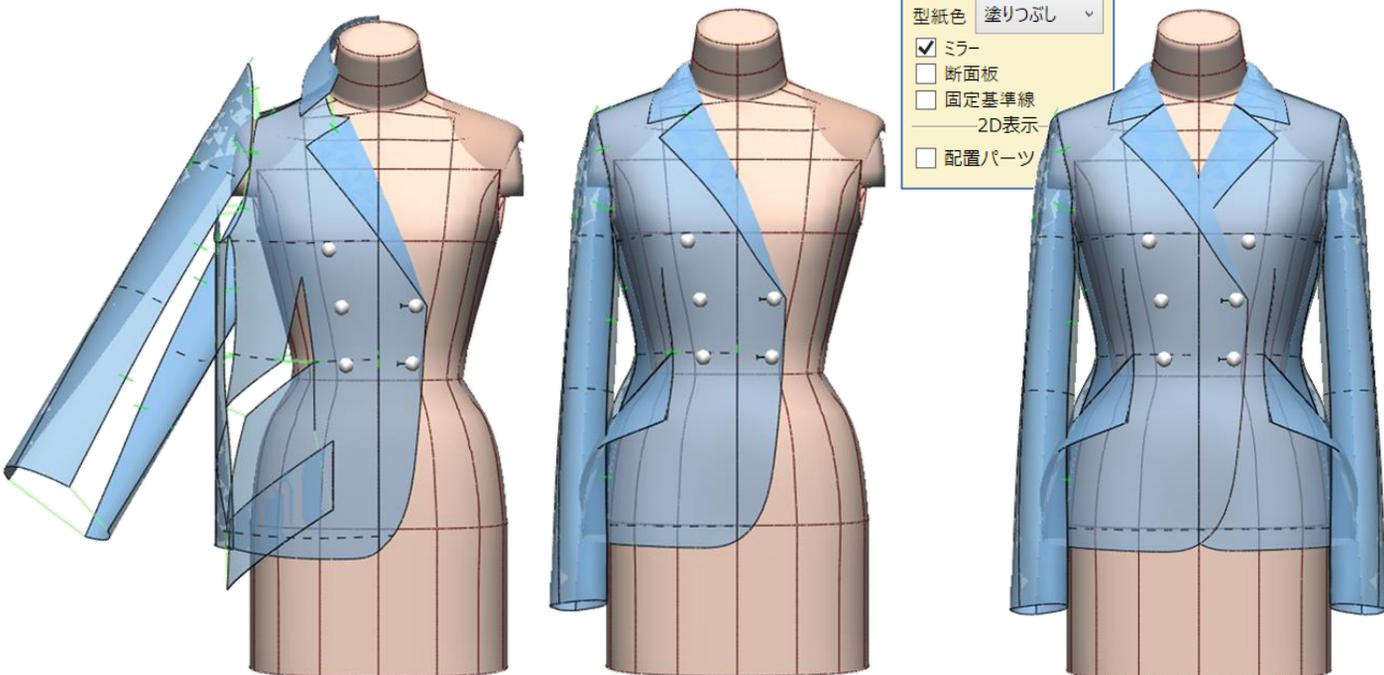
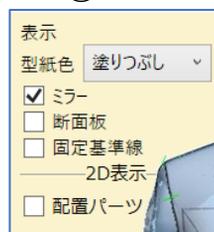
3)デジタルマルチ3D作成方法を重点解説

デジタルマルチ作成プロセスを(1)線情報設定、(2)配置設定、(3)PM7リフォーム設定の3工程に分け詳細な図解で重点解説、初心者でもトウルの3D作成が容易にできる内容です。

①配置されたパーツ

②半身パーツ縫合

③ミラーにチェックを入れて
全身パーツ縫合

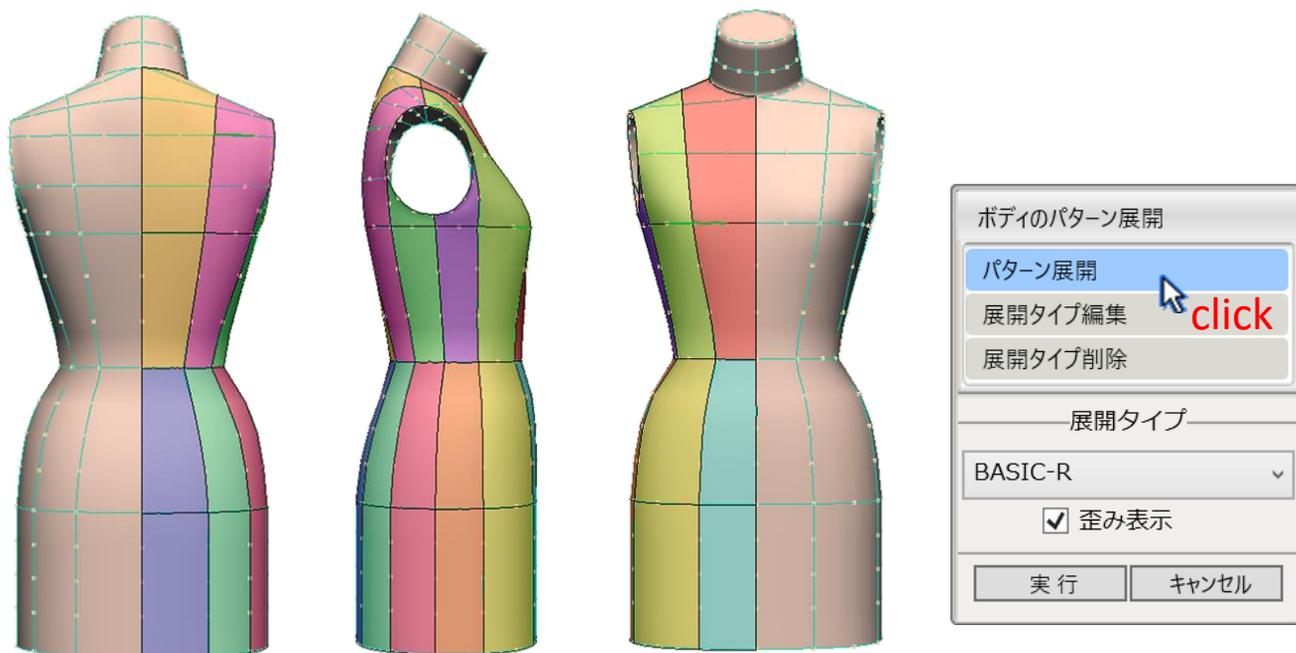


4)本書に同梱されている「ACS_デ イス(セ ッ ト イ ン)原 型」 について

本書では、以下の方法で作成した原型を使用する。

(1)ACS_デ イス(セ ッ ト イ ン)ボ デ ィ を、3Dメ ニ ュ ー[ボ デ ィ の パ タ ー ン 展 開]で、パ タ ー ン 展 開 す る。

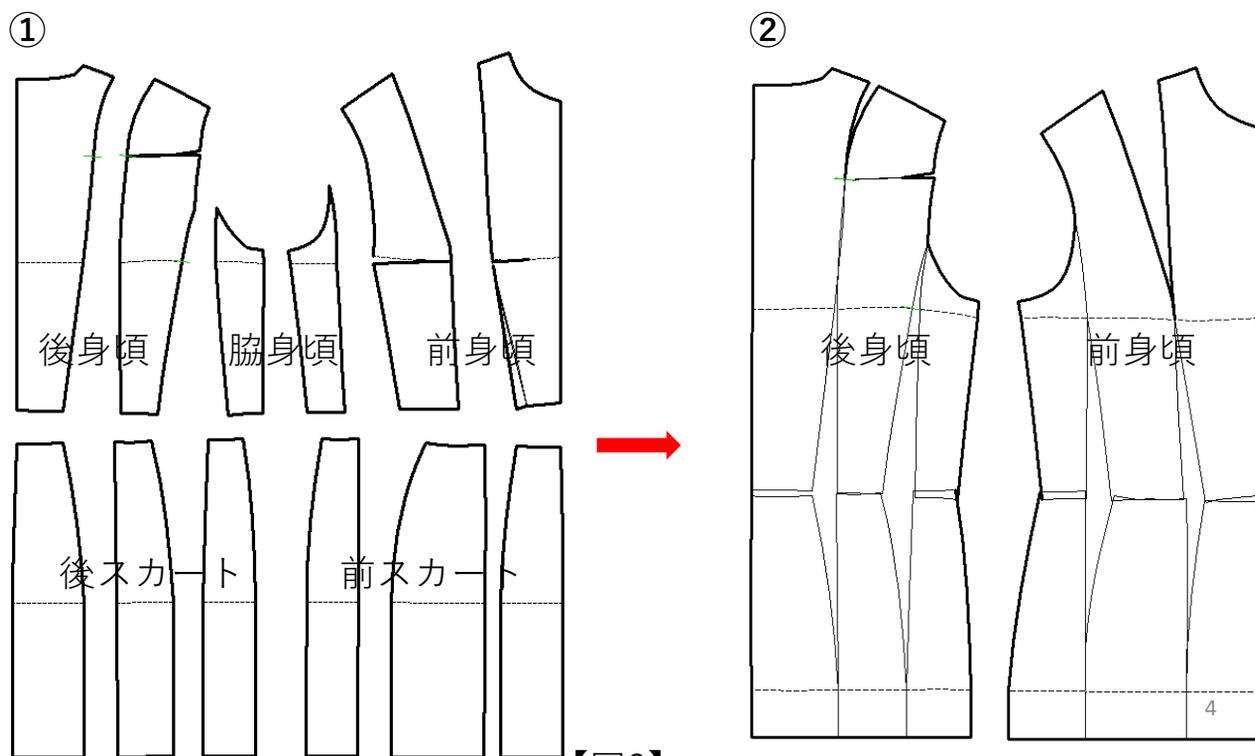
【図1】デフォルトで設定されている3Dボディの面分割(12面)を確認し、3Dメニュー[ボディのパターン展開]をクリックする。



【図1】

(2)平面展開したパ ー ツ を、使 い 易 い よ う に 統 合 し て 前 後 身 頃 パ タ ー ン に す る。

【図2】①12パ ー ツ に 平 面 展 開 し、②前 後 身 頃 パ ー ツ に 統 合 す る。

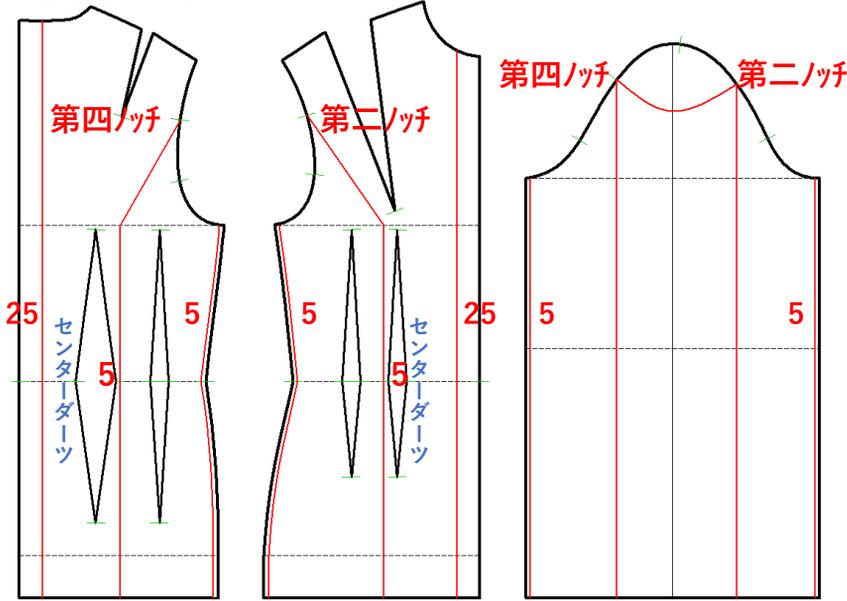


【図2】

(4)完成したトルソー原型(幅ゆるみ無し)を40mm幅出ししてジャケット原型にする

【図7】①センター(中心)ダーツエラスト線交点より脇側へ5mm位置から垂線をそれぞれひき、第四ノッチ、第二ノッチにつなげる。前後中心線から25mm、脇線から5mm平行線をひき身頃切り開き線とする。袖脇線に5mm平行線をひき、第四、第二ノッチから垂線をひき、第四ノッチと第二ノッチを凹線で結び袖切り開き線とする。②開き幅表の切り開き数値で、③平行に幅出しをする。

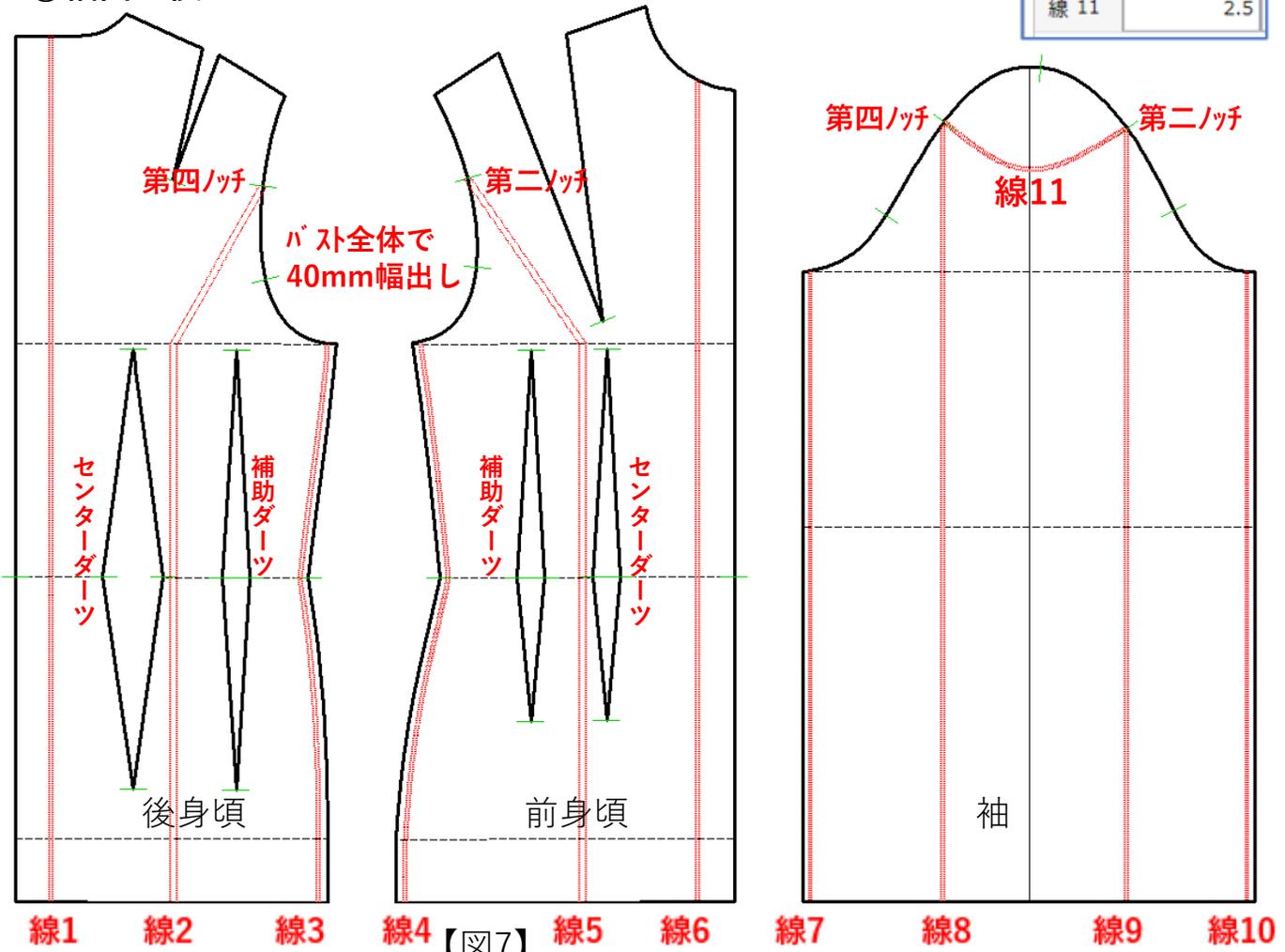
①幅出し前



②

開き幅表	
項目	幅(始点)
個別	10.0
線 1	2.5
線 2	5.0
線 3	2.5
線 4	2.5
線 5	5.0
線 6	2.5
線 7	1.5
線 8	2.5
線 9	2.5
線 10	1.5
線 11	2.5

③幅出し後

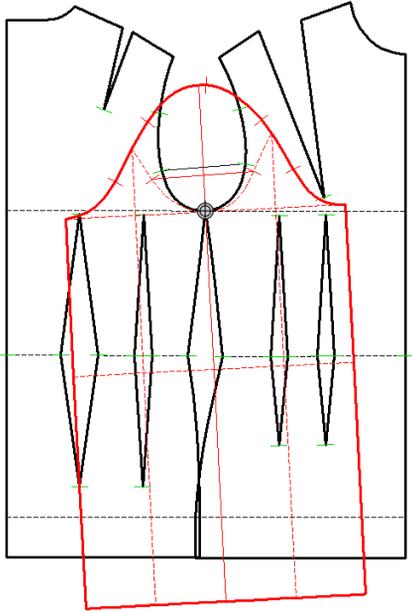


【図7】

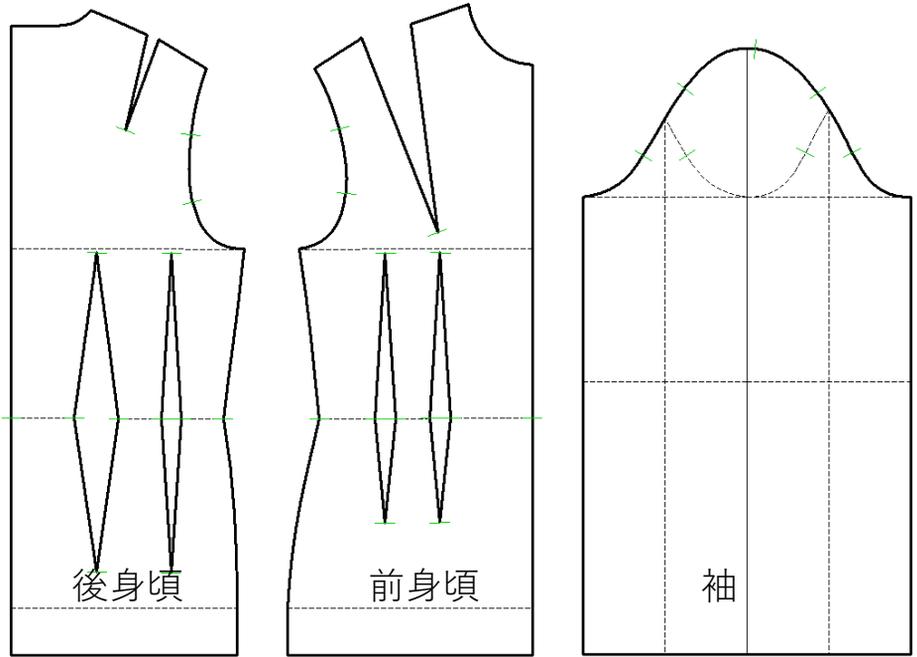
(5)幅出ししたジャケット原型パターンを確認し、デジタリチェックする

【図8】①身頃袖ぐり線と袖の目のマッチングを確認する。②完成したジャケット原型パターン、③図6③幅出し前のデジタリと比較し、40mmの幅出し分を確認する。

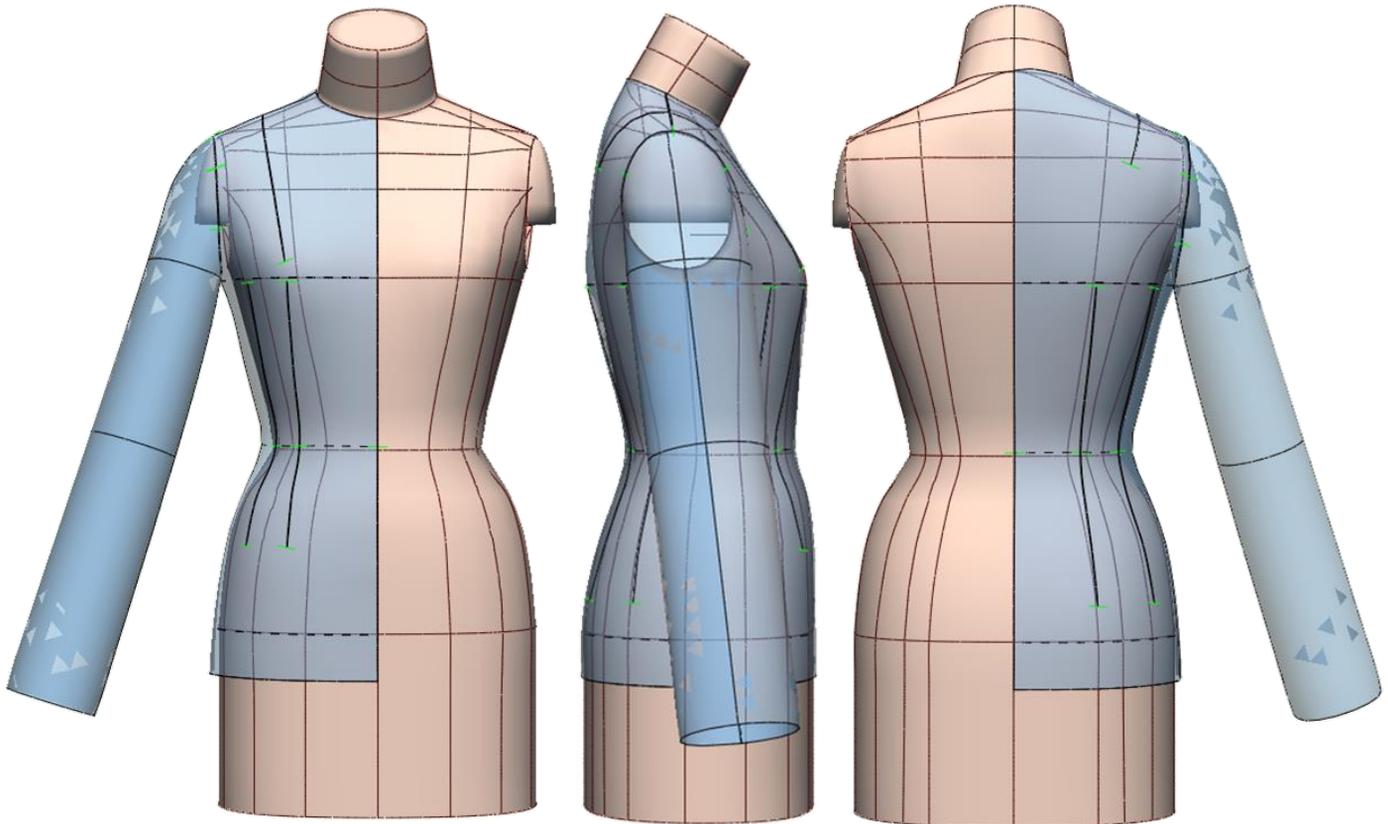
①



②

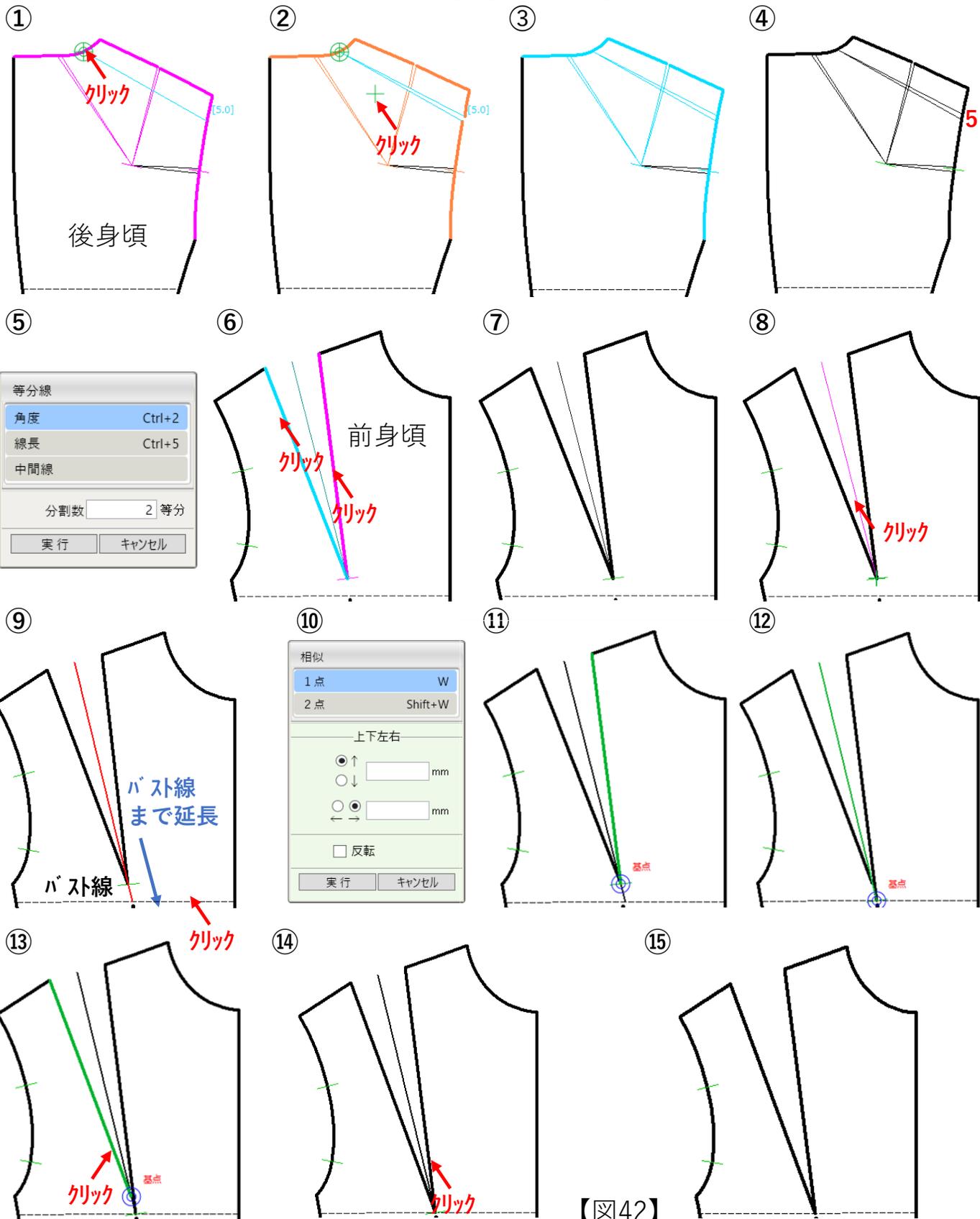


③幅出しジャケット原型のデジタリチェック



【図8】

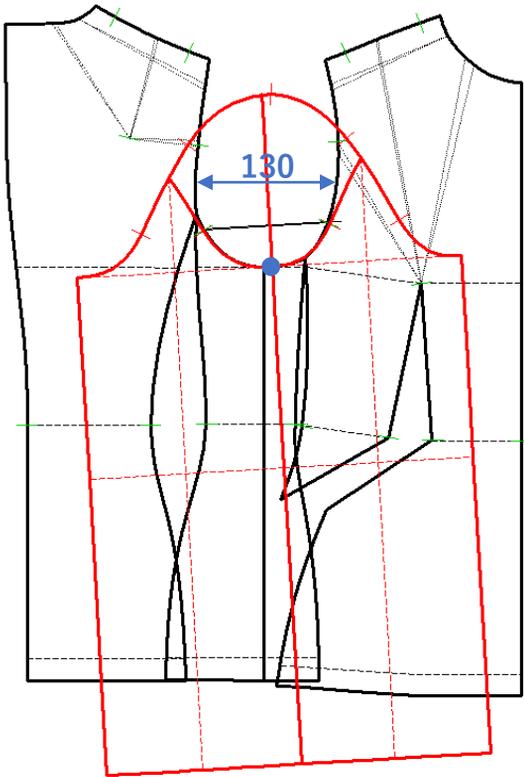
【図42】 ①回転中心をクリック、②固定位置をクリック、③Enterキーを2回押す、④後身頃が完成。⑤Ctrlと2[等分線]2等分で、⑥肩ダツ右線と左線をクリック、⑦Enterキーを押す、⑧[線の延長・短縮]で、等分線基点を移動元をクリック、⑨バスト線を目標線をクリック、延長し、⑩W[相似]1点で、⑪右ダツ線基点を移動元でクリック、⑫バスト線交点を移動先でクリックして移動、⑬左ダツ線基点を移動元でクリック、⑭右ダツ線基点を移動先でクリックする。⑮E[消しゴム]で、等分線をクリックして消す。



【図42】

【図60】 ①袖パターンの①aを身頃カ底ノッチ(青●印)①bに突き合わせ、回転中心として袖の第一ノッチと第三ノッチを結んだ線が身頃の第一のノッチと第三ノッチを結んだ線に一致するまで袖パターンを左回転して袖付けマッチングを確認する。②袖のいせ込み配分を計測し確認する。③デジタルワルチェックをする。

①



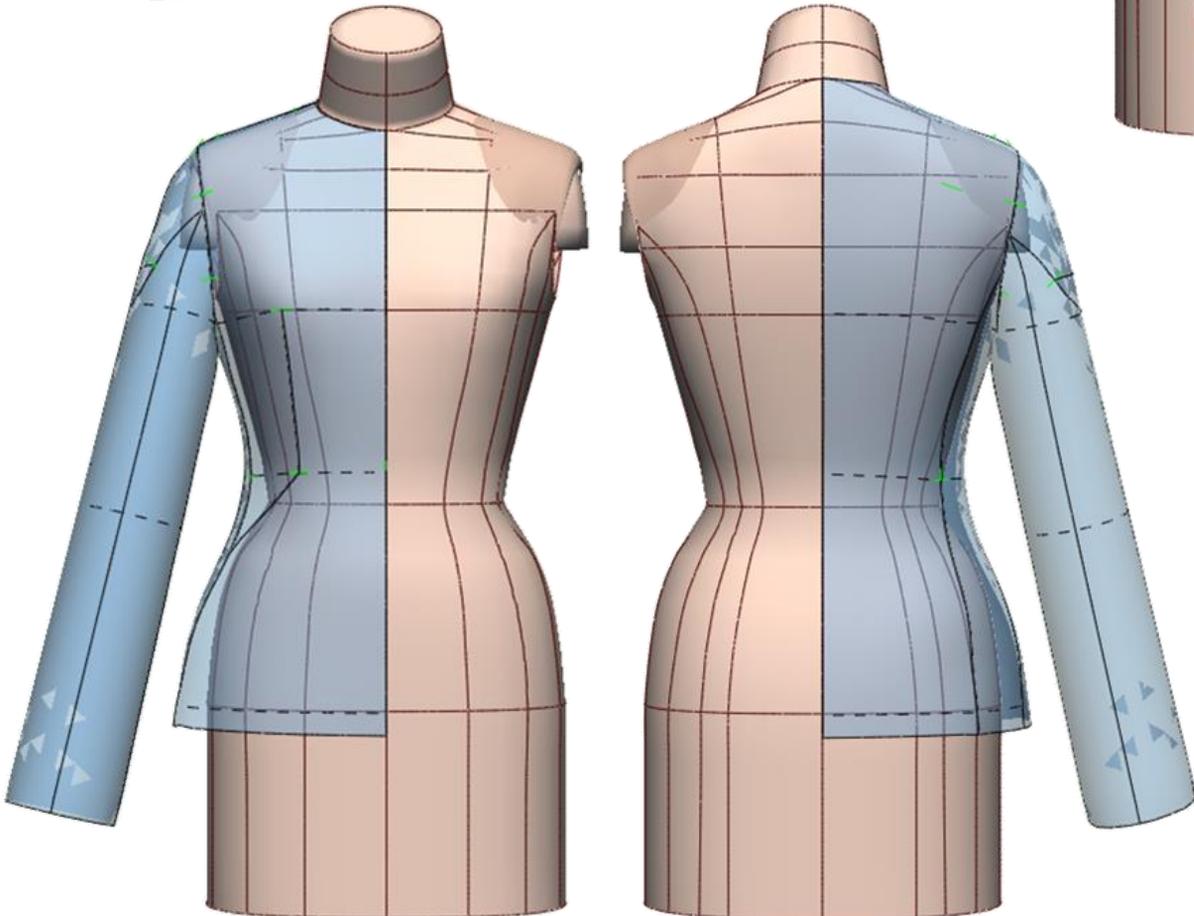
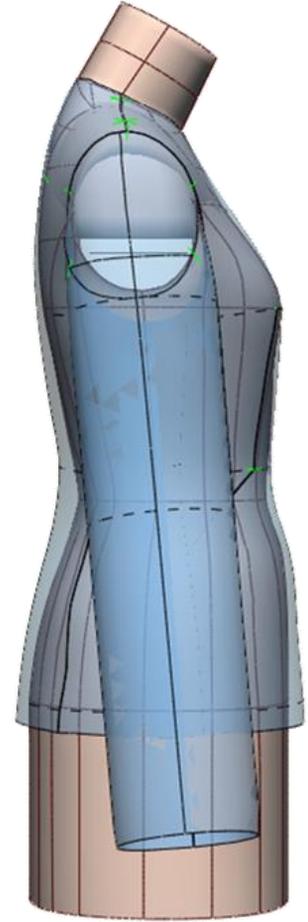
②袖ぐり線と袖山線のいせ込み分(参考寸法)

計測値メモ (ロック数: 0)

計測名	計測値	単位
後袖山線寸法	260.6	mm
後袖ぐり線寸法	233.4	mm
後いせ込み分	27.2	
前袖山線寸法	242.0	mm
前袖ぐり線寸法	220.8	mm
前いせ込み分	21.2	
全体いせ込み分	48.4	

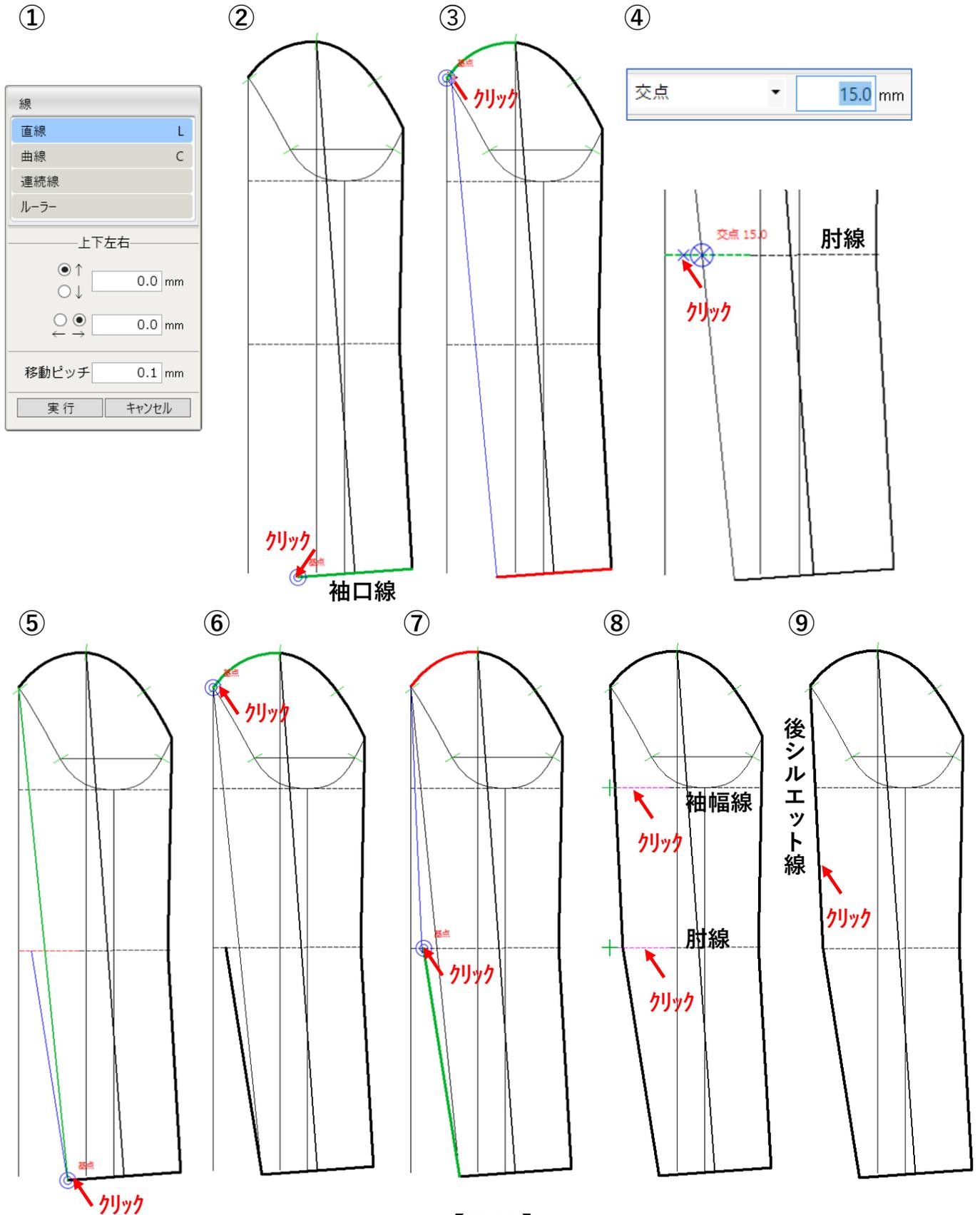
メモ欄 20 電卓表示

③



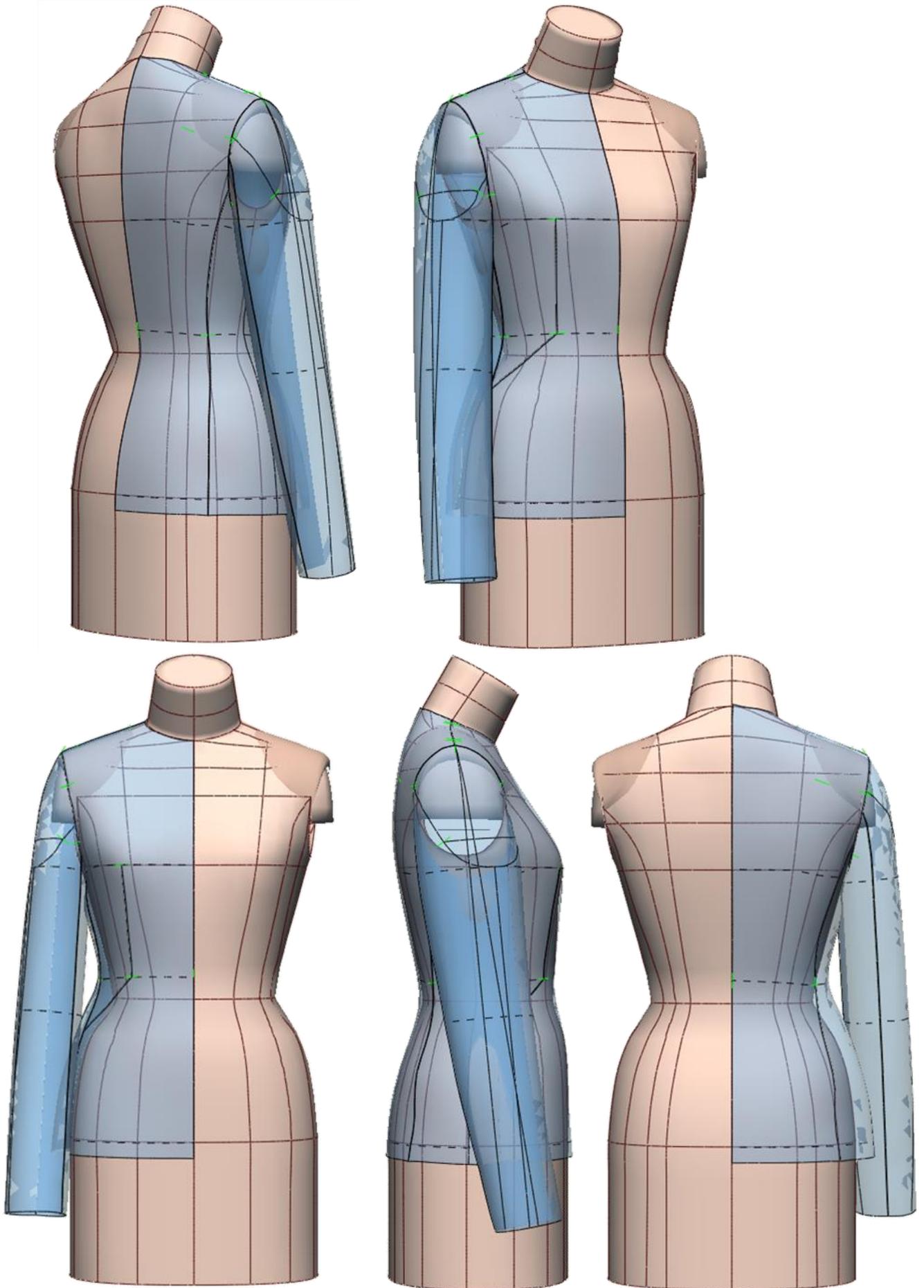
【図60】

【図69】 ①L[直線]で、②袖口線左側基点をクリック、③袖の目左角をクリック、④交点15mmで、肘線をクリック、⑤袖口線基点をクリック、⑥袖の目をクリック、⑦肘線交点をクリック、⑧E[消しゴム]で、不要な垂線、直線をクリックして消し、I[線の延長・短縮]で、Shiftキーを押しながら、袖幅線、肘線基点をクリック、⑨目標線を後シルエット線でクリックする。



【図69】

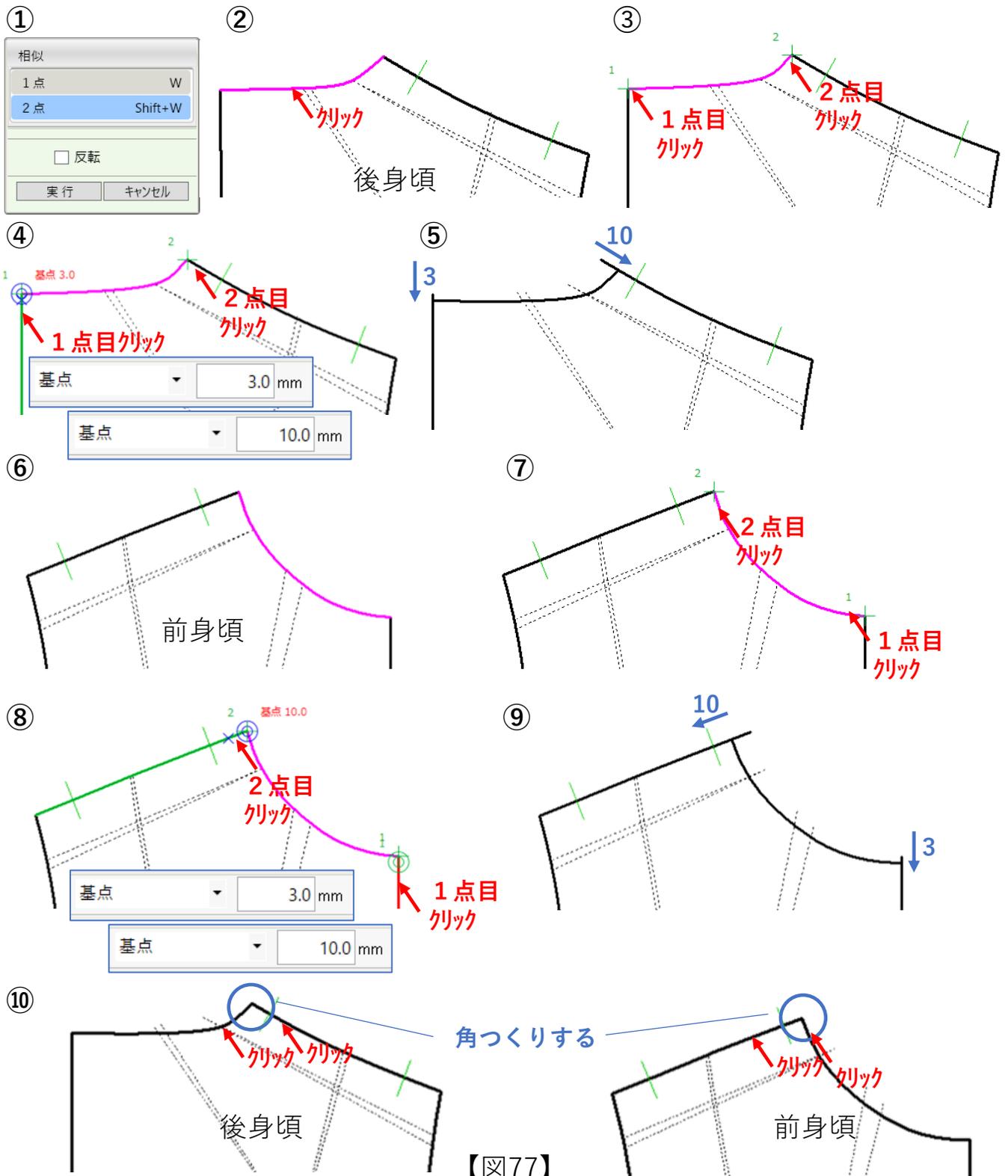
【図76】 ①図75のパターンを使用してデジタルチェックをする。



【図76】

(6) テーラド襟を作成し、デジカトルから襟とパルデザイン線の修正をする

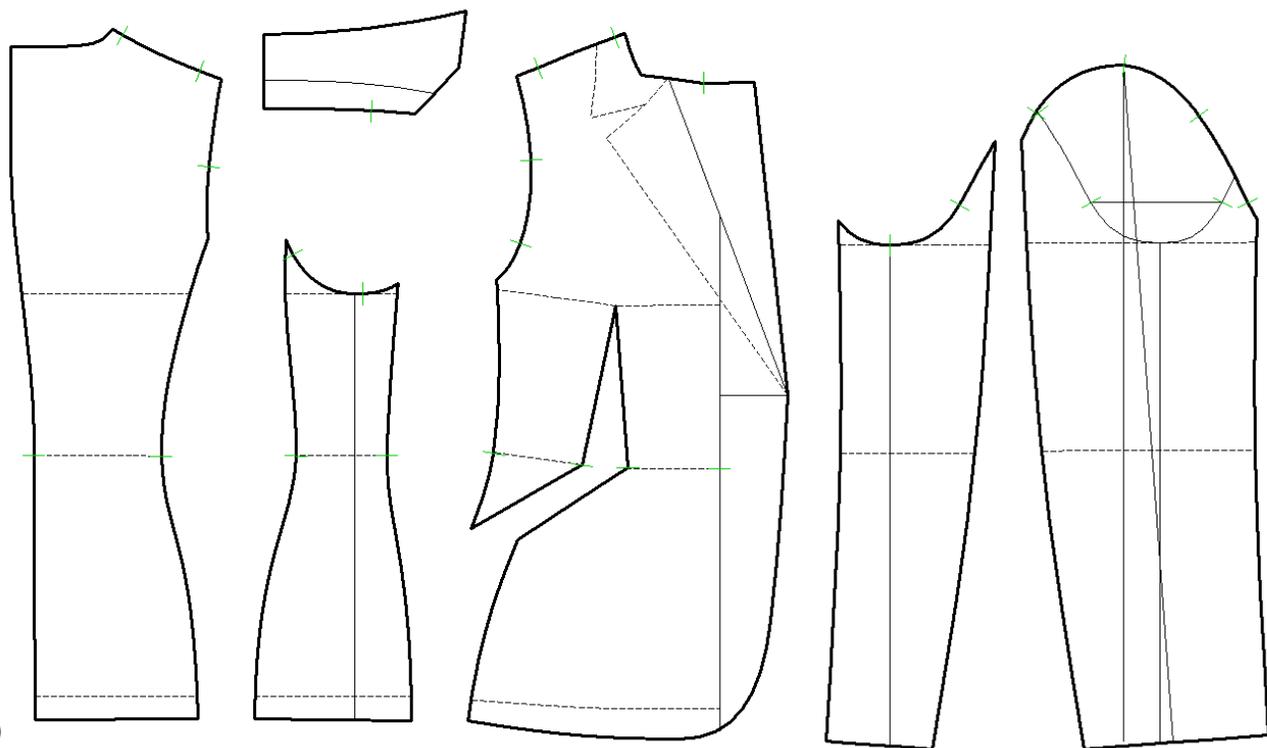
【図77】 ①ShiftとW[相似] 2点で、②後襟ぐり線をクリック、Enterキーを押し、③襟ぐり線当てはめ元1点目をクリック、2点目をクリック、④当てはめ先1点目を後中心線基点から3mmでクリック、当てはめ先2点目を肩線基点から10mmでクリック、⑤後襟ぐり線が移動する。⑥前襟ぐり線をクリック、Enterキーを押し、⑦襟ぐり線当てはめ元1点目をクリック、2点目をクリック、⑧当てはめ先1点目を前中心線基点から3mmでクリック、当てはめ先2点目を肩線基点から10mmでクリック、⑨前襟ぐり線が移動する。⑩Z[角延長・カット]でクリック、クリックして前後サイドネックの角つくりをする。



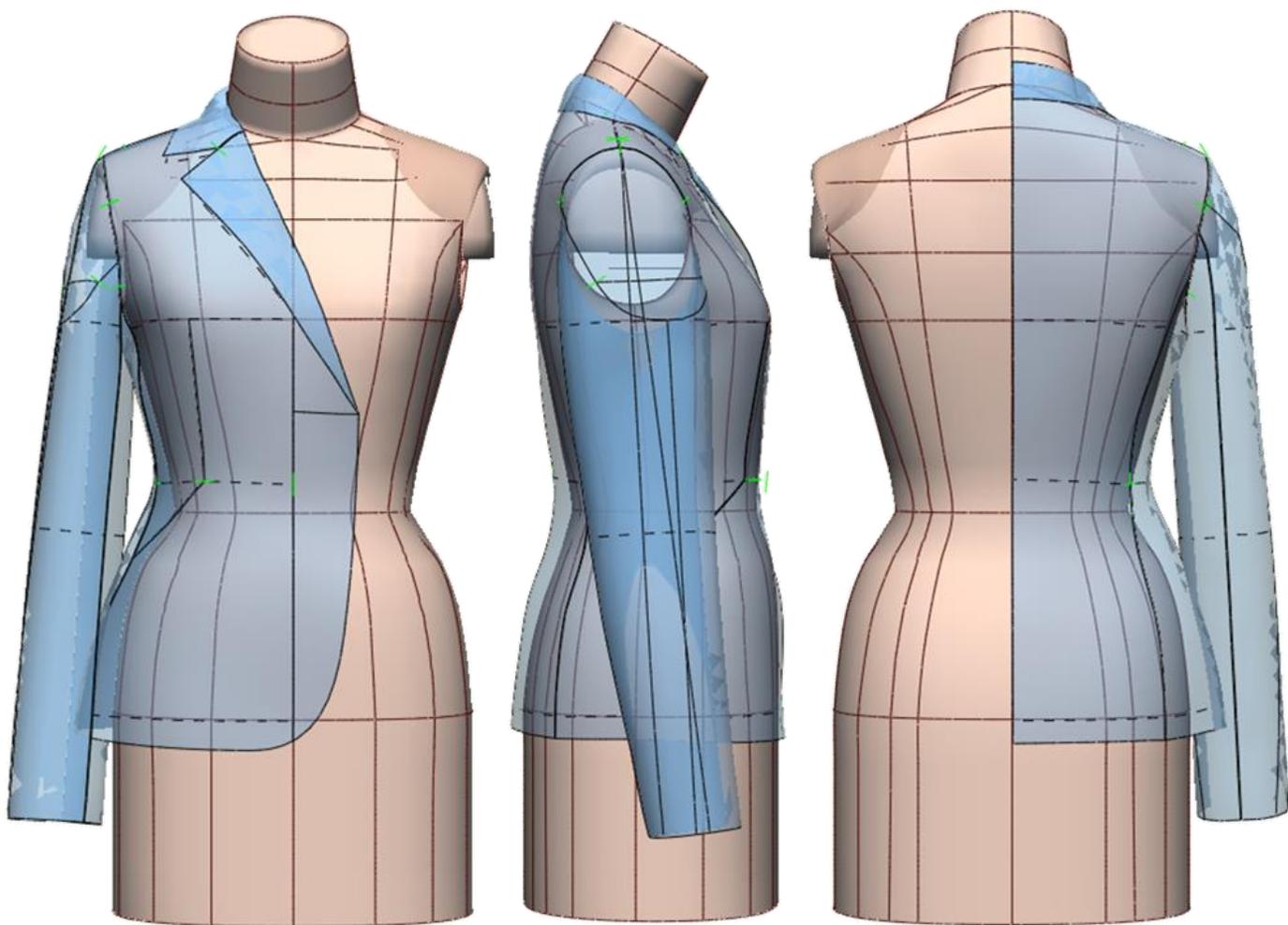
【図77】

【図96】 ①完成したBar Jacketパターン(釦と腰フラップポケットを除く)で②デジタワークHECKする。

①

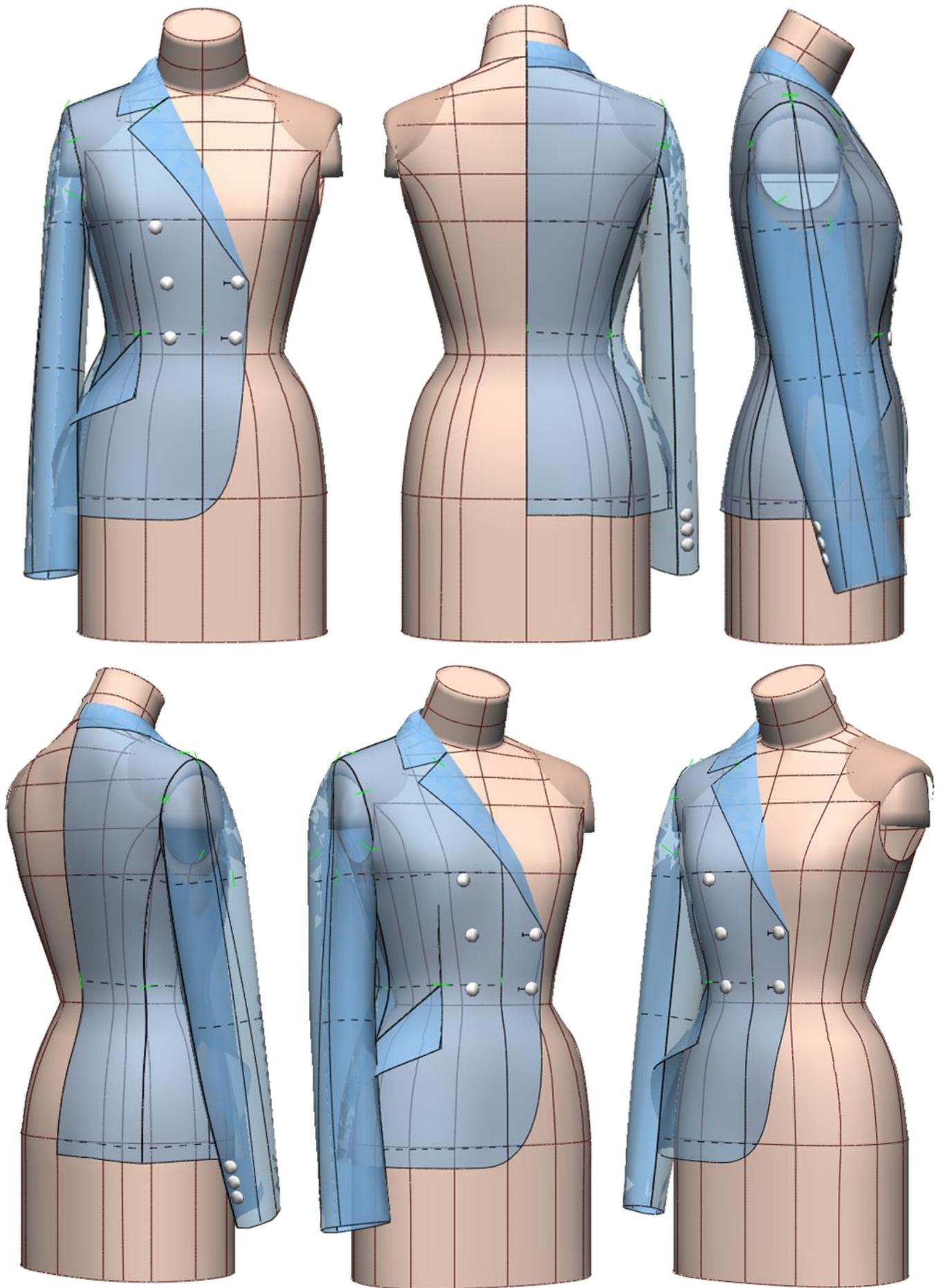


②



【図96】

【図112】 完成したBar Jacket半身パターンでデジタルチェックする。



【図112】

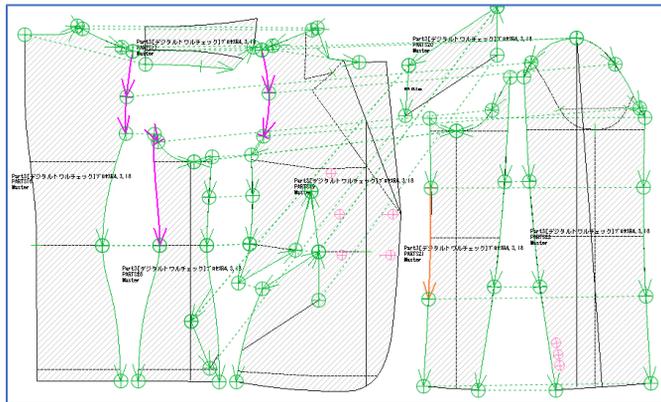
3D(デジタル)によるパターンチェックのことを、本章では**デジタルチェック**という。
この章では、半身パーツを使った場合のデジタル作成について解説する。

デジタル作成の3段階プロセスについて

(1)線情報の設定

Pattern Magic IIで作成したデザインパターンの半身パーツを縫合設定する。

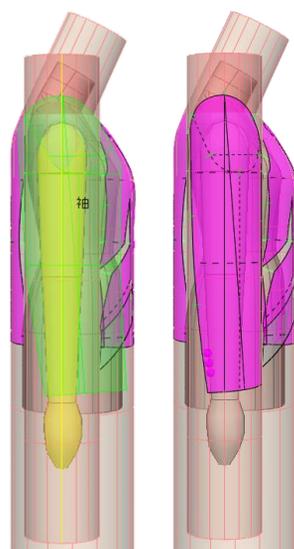
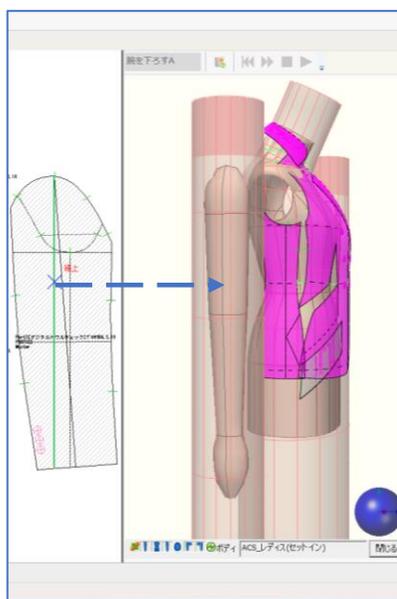
- ①縫合線(肩、パネル、袖付け、2枚袖、衿付け、フラップポケット付けなど)
- ②ダーツ(前ウエストダーツ)
- ③いせ込み(肩線、外袖接ぎ線)
- ④伸ばし(外袖接ぎ線)
- ⑤ラベル返り線と上襟腰線など



(2)配置の設定

- ①重ね順設定
- ②配置方法など

外袖パーツ配置の例



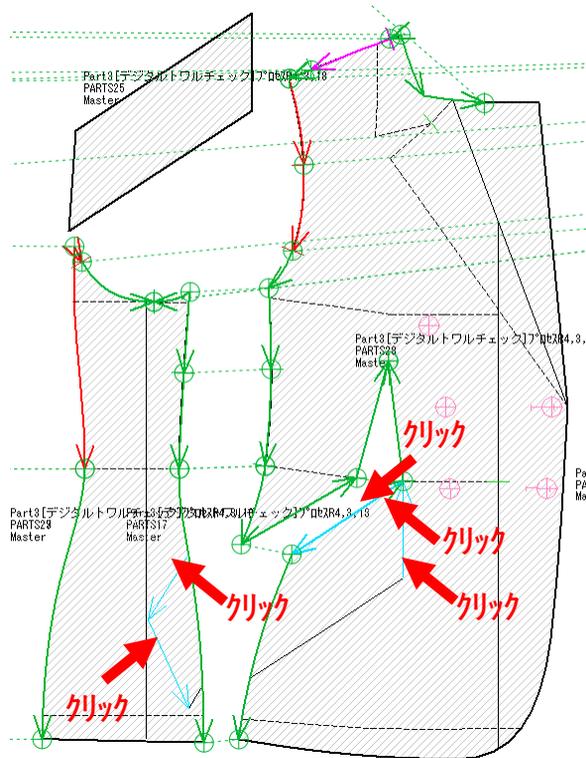
(3)PMリフォームの設定

- ①固定基準線
- ②固定基準点
- ③軸固定
- ④線固定
- ⑤腕下ろすタイプ B選択
- ⑥引っ張り
- ⑦素材厚さ
- ⑧パーツミラ設定
- ⑨保存と復元など

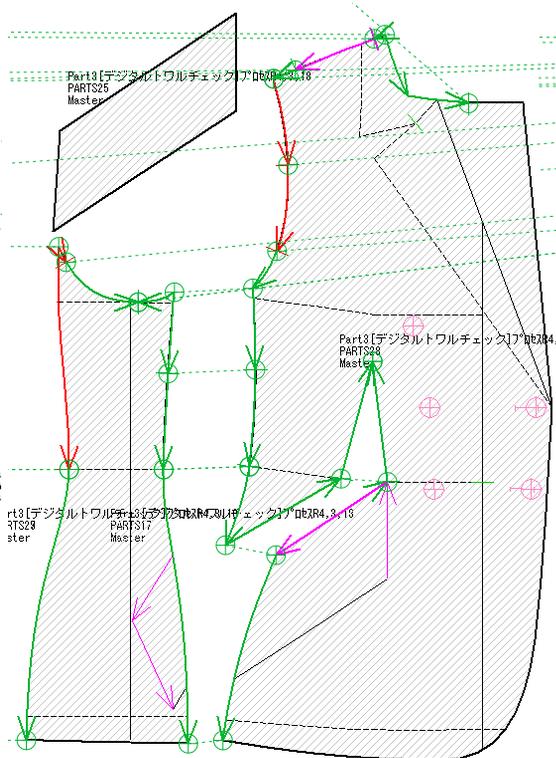


【図121】 ①Shiftキーを押しながら、身頃のフラップポケット仕上がり線を左回りでクリック、②Enterキーを押し、③Shiftキーを押しながら、フラップポケット仕上がり線を左回りでクリック、④Enterキーを押す。

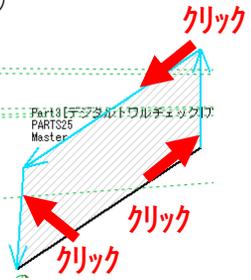
①



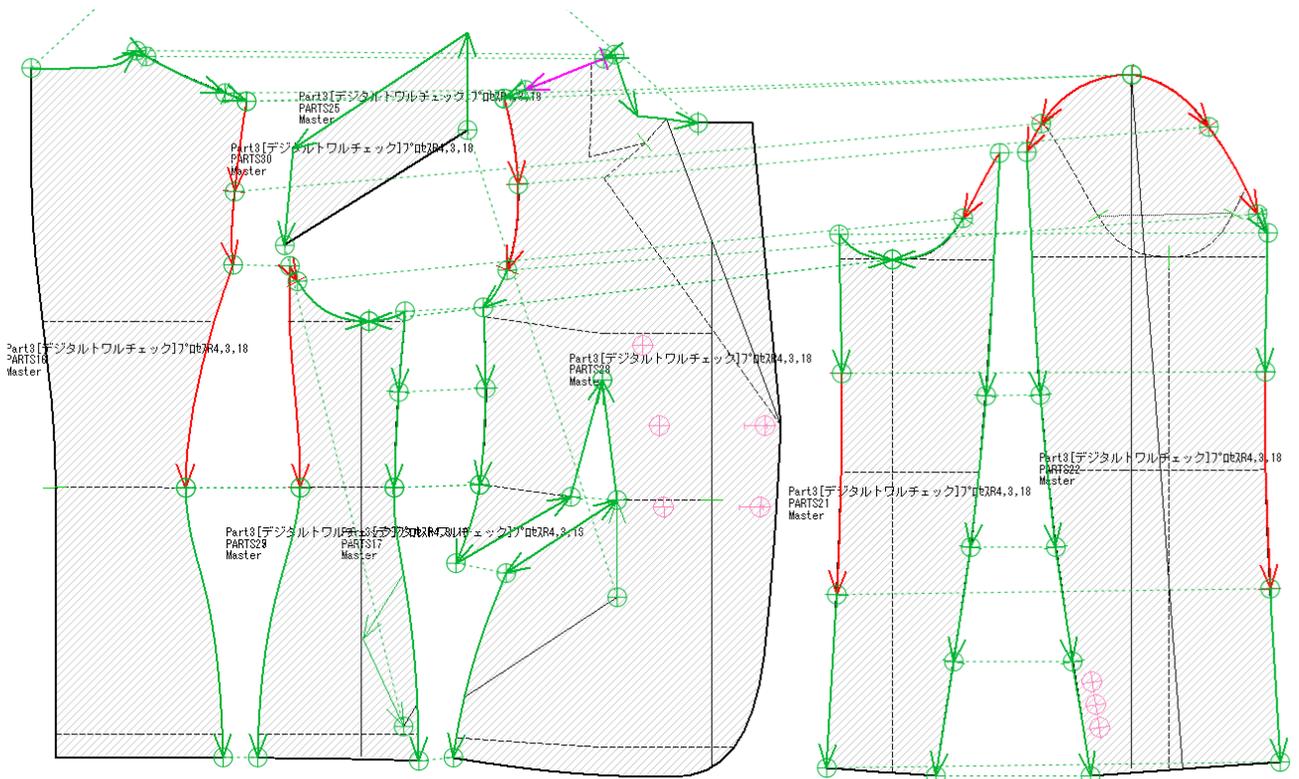
②



③

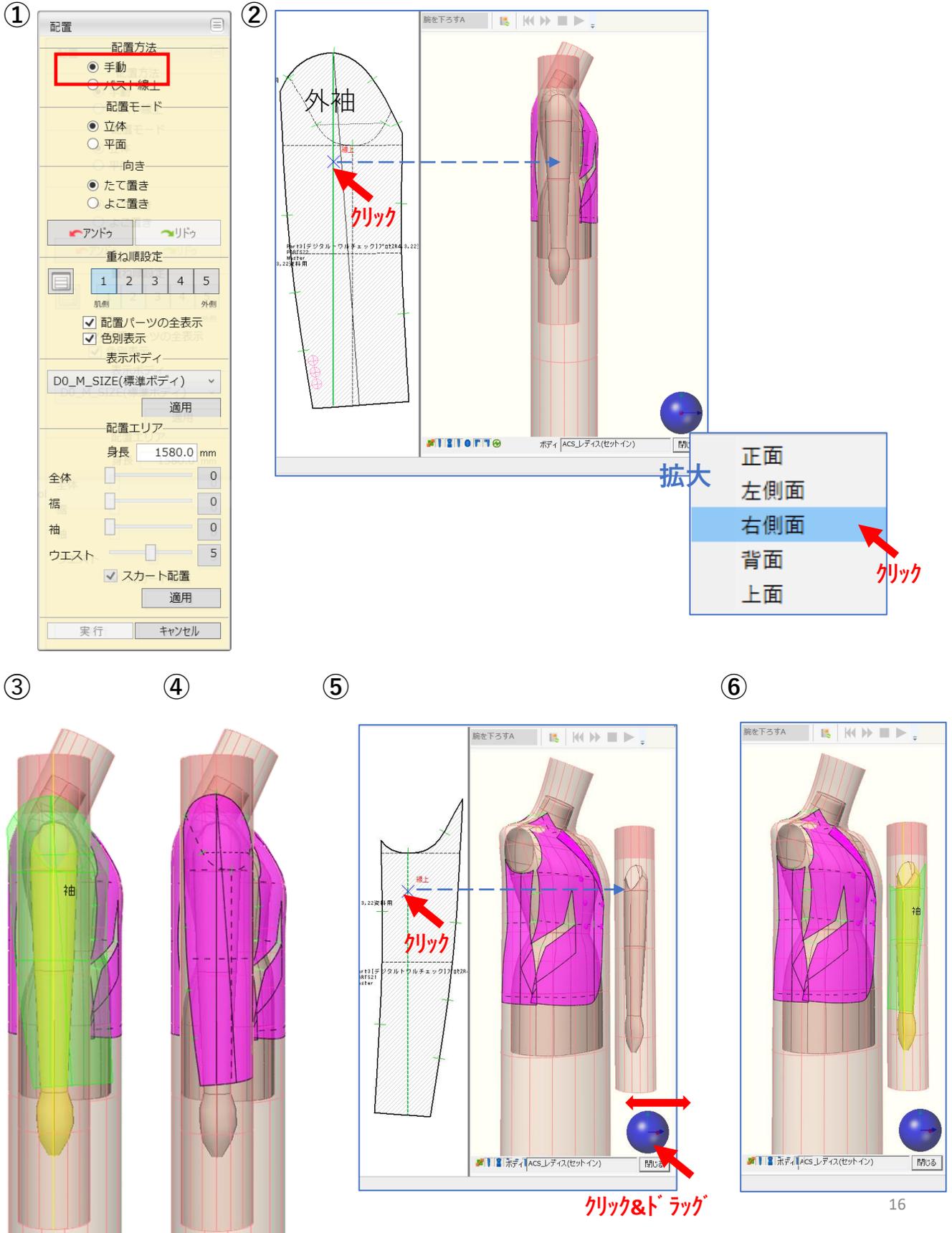


④



【図121】

【図130】①配置方法を、手動に入れ替え、②右側面をクリック、外袖中心線をクリック、パーツがマウスポインタに付いて来るので、③ボディの腕に外袖パーツ中心線と袖幅線を合わせてクリックし配置する、④外袖が配置される、⑤ウエスタをドラッグして、内袖を配置する図の位置に回転し内袖パーツの袖下線をクリック、⑥腕に内袖パーツの袖下線と袖幅線を合わせてクリックし配置する。



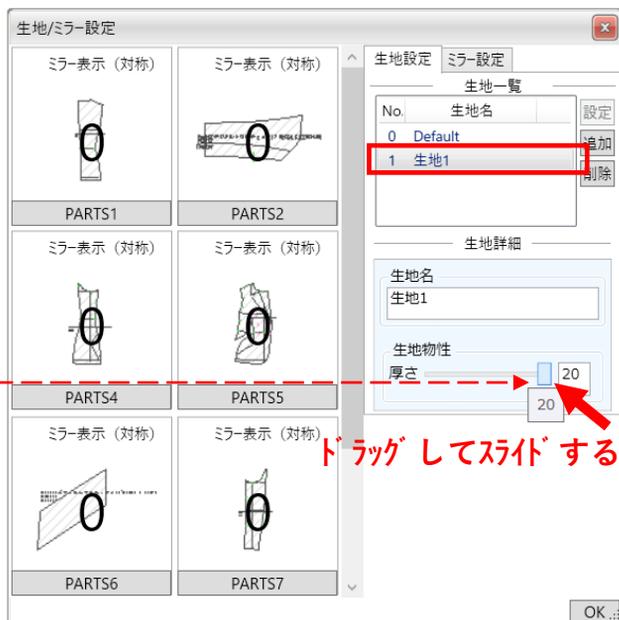
【図130】

【図145】①Defaultをクリック、生地設定の追加タブをクリック、②NO.1 生地1が追加されるので生地物性バーを右側へスライドし厚さ20に設定し、③Shiftキーを押しながら全パーツをクリック、選択する、④設定タブをクリックする。⑤生地厚さが、生地1の20に代わる。⑥外袖パーツは生地0のまま、OKを押す。

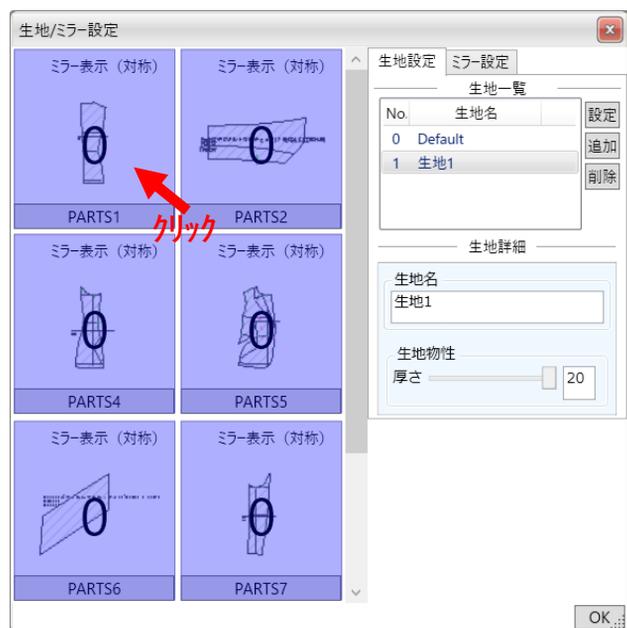
①



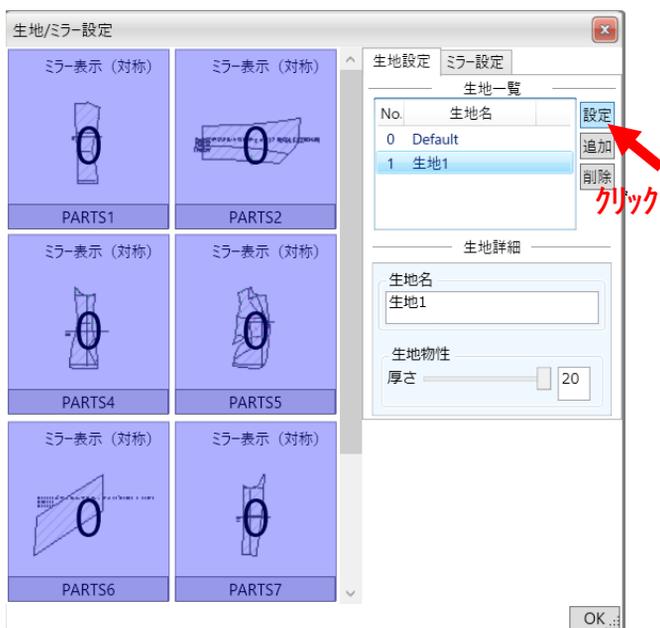
②



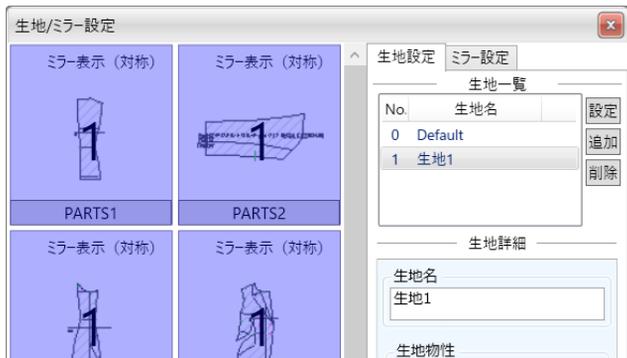
③



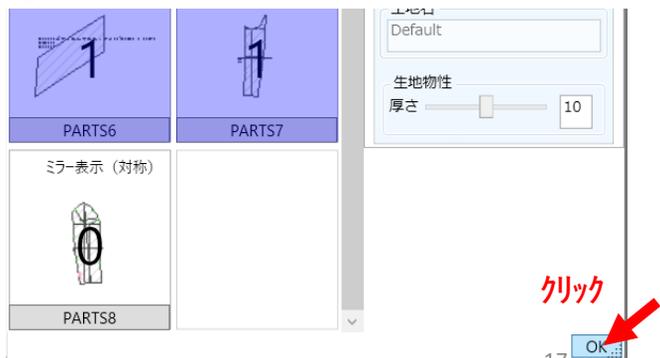
④



⑤



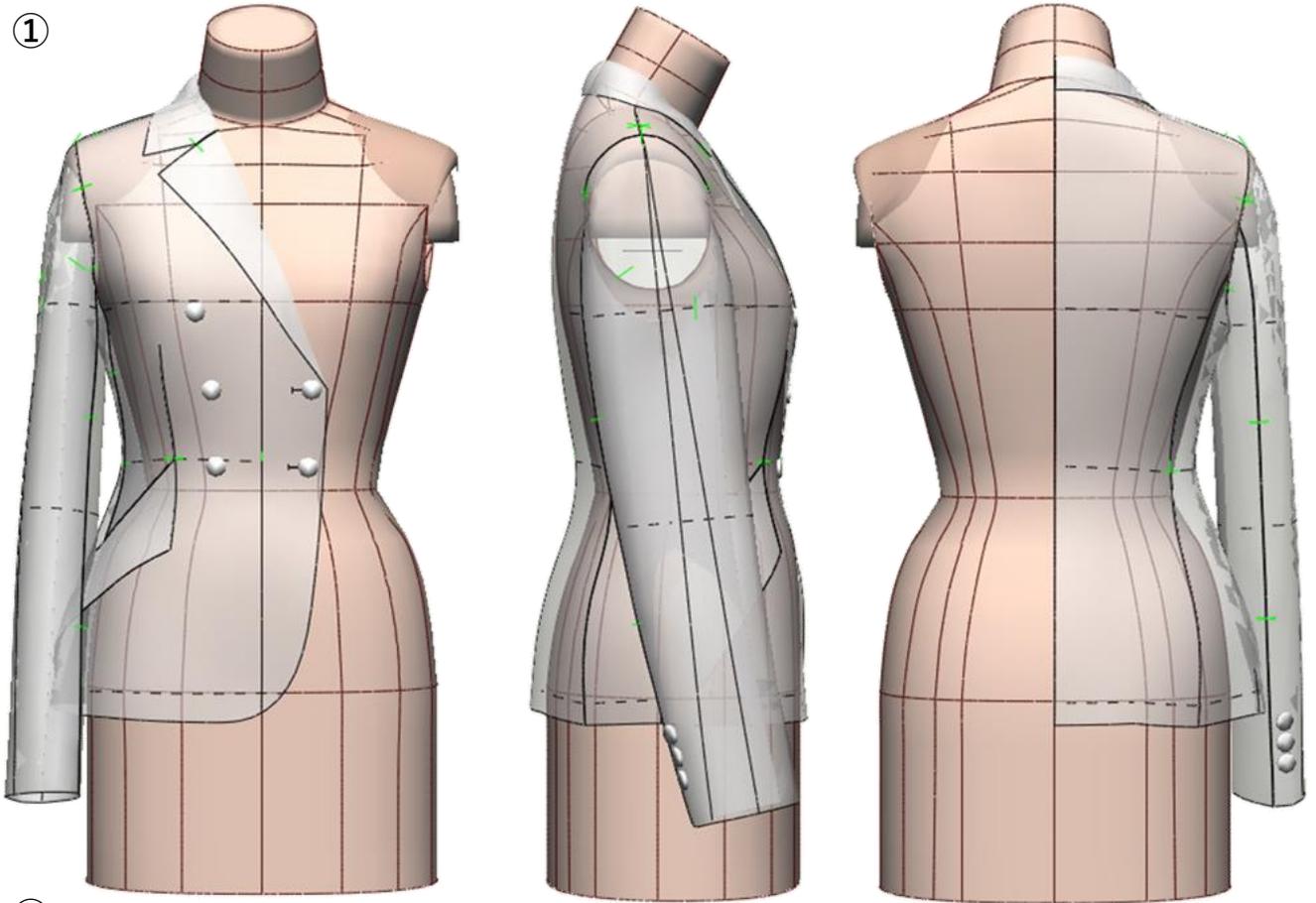
⑥



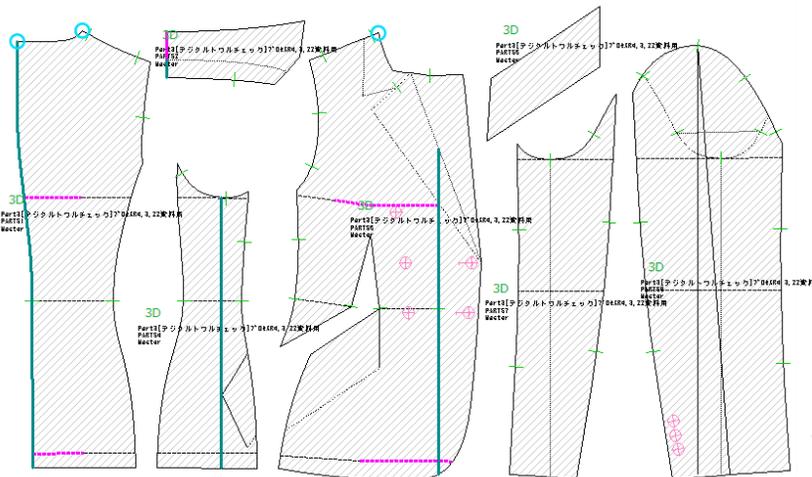
【図145】

【図151】 ①完成した半身デジ 矧刂刂を各方向からチェックする。②ミ刂にチェックを入れ、全身デ 矧刂刂チェックする。

①



②



【図151】

著者紹介

関川 政春



専門学校のアパレルCAD教育に39年間携わった経験を生かし実践的な教育方法確立を目標にしています。

「デジタルトワル」は、その取り組みの一つです。

- 1969年 武蔵野美術大学短期大学部デザイン科芸能デザイン専攻アパレルデザインコース
(美大初のアパレルデザイン課程)卒業
- 1969年 田宮夕美子デザイン研究所の助手として勤務
アメリカ既製服のドレーピング、パターンメイキングなどの技術を研究 同所教育
講座「アパレル企業対象のグレーディング」講師も務める
- 1970年 (株)関川で、メンズニットのデザインとパターン担当
- 1972年 新潟県にあるカモトリコ(株)商品開発センターに勤務
アパレル各ブランドのOEM生産縫製仕様書、工業用パターン作成など製造技術標準化、
高度化を図った
- 1976年 同社商品開発センターのアパレルCADパターン室長に就任
OEM婦人服および婦人ニットスーツの工業パターンメイキング、グレーディングを手
がける
- 1983年 新潟総合学院に入社し、新潟デザイン専門学校ファッションデザイン科主任に就任
- 1985年 その在職中、新潟県繊維協会主催の五泉ニット企業デザイナー、パタンナー向けの
立体裁断パターンセミナー講師を12年間務める
- 1990年 同校から分離独立した新潟ファッションビジネス専門学校の教務部長就任、
ファッション分野のカリキュラム充実、特にアパレルCAD教育(シノマ、パトリエ)の
高度化に尽力した
- 2002年 国際トータルファッション専門学校(新潟FB専門学校の校名変更)の校長に就任
- 2007年 事業創造大学院大学・事業創造研究科卒業、経営管理修士MBA取得
- 2016年 ファッションビジネス学会全国大会で、「デジタルトワル」を活用した
「婦人テーラードジャケットのパターン&3Dシミュレーション検証」を発表
本書の発刊は、この研究成果がベースになる
- 2017年3月 同校校長を定年退職
引き続き、同校の非常勤講師アパレルCAD教育(GREA COMPO II)に携わり現在に至る

参考文献

- 大野順之助著 パターンメイキングの原理(1990) 株式会社アミコファッションズ
- アミコ・パターンメイキング叢書
 - ジャケットのパターンメイキング 小山千暁著(1987)
 - アウトドア・ウェアのパターンメイキング 野上均著(1987)
- 加藤ユキヨシ著 立体裁断の基礎理論(2002)
- パターンメイキング技術検定試験ガイドブック(2002) 財団法人日本ファッション教育振興協会編纂
 - 3級、2級、1級 プロダクト・パターンメイキング
- 文化ファッション大系 アパレル生産講座⑤ 工業パターンメイキング 文化服装学院編(2008)
- ジャケットのパターンメイキング基本編 パターンメイキング技術検定1級副読本(2014)
 - KFCC特定非営利活動法人関西ファッションカレッジコンソーシアム
- PATTERNMAKING for fashion design HELEN JOSEPH ARMSTRONG 著

I. 知的財産権について

本書に収録されているコンテンツは、各国の著作権法及び関連する条約等で保護されています。したがって、本書の情報を承諾なしに複製、改変、配布などを行うことはできません。個人的な利用を目的とし、本書をコピーすることは構いませんが、これを他の資料や印刷媒体に転載することはできません。その他著作権法で認められている範囲を超えて、本書に収録されているコンテンツを著作権者に無断で使用することはできません。

II. 商標一覧と記述について

本書の記述については、商標とは別に略称・別称を用いて記述しています。表1に本書で使用している略称・別称の一覧を示します

表1略称・別称一覧

商標	読み方	本文中の略称・別称
CREACOMPO®	クレアコンポ	CREACOMPO
PATTERN MAGIC®	パターンマジック	Pattern Magic、PM
CREACOMPO® II	クレアコンポツー	CREACOMPO II
PATTERN MAGIC® II	パターンマジックツー	Pattern Magic II、PM II
デジタルトワル™	デジタルトワル	デジタルトワル、デジタルトワルチェック

※CREACOMPO、PATTERN MAGICは東レACS株式会社の登録商標または商標です。

III. ソフトウェア画像について

本書で説明している「デジタルトワル」の作成方法及び処理手順は東レACS株式会社「CREACOMPO II PATTERN MAGIC II 3D」のVer.7.0.0.0を使用しています。

『3面構成テーラードジャケットを極めるPart 3 Bar Jacket編 Ver.7』

2022年03月 第1版発行

著者 関川政春

